

# 通信

# 喜多浩一

き た こう いち

Vol.30 発行・喜多浩一

## 金沢市議会議員10年が過ぎ 心新たに



新型コロナウイルスが猛威を振るい出してから1年が過ぎましたが、依然として世界中で感染者が発生しており、油断を許さない状況が続いています。

日本においても昨年2月頃から感染者が徐々に増え始め、安倍前総理の決断により日本全国の学校が休校となり、4月には緊急事態宣言も発令され、完全に経済活動が一時停止となりました。外出時のマスクの着用だけでなく、入退時における手指の消毒や、いわゆる「三密」をさける手段など、あらゆる感染予防対策が行われるようになりました。このような市民の皆様の献身的な努力の甲斐もあり、いったん夏場にかけて収束の気配が見られましたが、秋口から再び感染者が増え始め、東京などでは

一日の感染者数が1000人を超えるようになり、首都圏を中心に再び緊急事態宣言が発令され、人の往来や経済活動が制限されました。

金沢においても、一時感染者の増加などの影響から外出する市民が大幅に減少し、観光客などもほぼ皆無となりました。国の経済対策などにより賑わいが戻る場面も見られましたが、再び首都圏などの感染拡大が始まると、自粛ムードの高まりとともに再び経済活動は低調に推移するようになりました。新年度にかけて、感染防止対策と経済活動の両立に向けての対策がより求められてくるとともに、市民の皆様に対するコロナウイルスワクチンの接種が今後の最重要課題の一つになっています。

この「喜多浩一通信」もいよいよ30回目の発行となりましたし、私自身、この4月で金沢市議会議員とならせていただいてから、ちょうど10年が過ぎることとなります。一日も早く、もとの日常が取り戻せるように、これまで以上に高い緊張感をもって精進していくことを改めて誓わせていただきます。

バックナンバーについては下記アドレスにてご覧になれますので、アクセスしていただければ幸いです。(喜多浩一)

<http://kita-koichi.com>



① 泉野福祉健康センター改築  
新しい健康センターは令和4年3月に完成予定です。



② 米泉ドジャース卒団式  
息子もお世話になっていた懐かしき米泉ドジャース。



③ にし茶屋街  
休憩所を兼ねた緑地が整備され、案内板も新設されました。

### ▶ 議会活動 PHOTO ◀



④ 安原異業種工業団地(第5次)起工式  
新しい用地整備がなされ、更に多くの企業の進出が期待されます。



⑤ 国立工芸館開館  
サッカーで有名な中田英寿氏が名誉館長に就任されました。

### 喜多浩一プロフィール

昭和 45年 5月 野町に生まれる  
 52年 3月 藤蔭幼稚園卒  
 58年 3月 森山町小学校卒  
(金沢東警察署で少年剣道)  
 61年 3月 星稜中学校卒  
(剣道部主将)  
 平成 元年 3月 金沢泉丘高校卒  
(剣道部主将)  
 9年 3月 早稲田大学卒  
 9年 4月 今村証券株式会社入社  
 23年 1月 // 退社

平成 23年 4月 金沢市議会議員選挙に初当選  
 27年 4月 金沢市議選挙で2期目の当選  
 31年 4月 金沢市議選挙で3期目の当選  
 令和 2年 3月 第123代副議長に就任  
(同年9月退任)  
 金沢市泉本町に在住  
 資格 証券アナリスト・ファイナンシャルプランナー  
 国家試験合格 行政書士・宅地建物取引士  
 家族 妻、長男(米泉ドジャース→石川中央ボーイズ→金沢泉丘高校野球部)、次男

### ご意見などございましたらお気軽に・・・

〒920-8577 金沢市広坂1-1-1  
 金沢市役所 6F  
 会派控室  
 まで



ツイッター・フェイスブックで情報を発信しています。ぜひアクセスをお願いします！



## ◀ 令和2年12月市議会定例会での主な一般質問と答弁の要約 ▶

### GIGAスクール実施計画について

(喜多浩一)

全ての児童生徒に対し、1人1台の端末を導入するGIGAスクールの実施計画について、新年度4月の段階で、市内全ての学校に無線LAN環境やタブレット端末機の導入が予定されていますが、その準備状況についてお聞かせ願います。

(野口教育長)

現在、順次、無線LAN環境の工事を実施しており、1人1台の学習用端末の整備と合わせ、今年度内の1日も早い整備完了に向け取り組んでいます。予定通り、令和3年4月からの学習にしっかり活用していきます。

### デジタル化に向けた新たな組織の設置について

(喜多浩一)

令和3年秋に創設が予定されている国のデジタル庁と同様に、本市においてもデジタル化を強力に進めるため、縦割り行政の打破を目指し、市長直轄の強い権限を持った部局横断的な組織の設置が必要と考えますが、山野市長の考えをお聞かせ願います。

(山野市長)

行政のデジタル化は全部局が連携してスピード感を持って取り組んでいかなければならないと考えており、強力に推進するための組織については、ICT活用推進計画の見直しに合わせて検討していく。

### パートナーシップ制度について

(喜多浩一)

金沢SDGsの取り組みを実践していく中、パートナーシップ制度の導入の可能性を含め、本市は多様な考え方を定着させるために今後どう取り組んでいくのか、お聞かせ願います。

(山野市長)

SDGs未来都市の実現に向け、先行自治体の事例も参考にさせていただきながら、まずは利用可能なサービス提供というものを具体的に精査し、パートナーシップ制度の制度設計を視野に前向きに取り組んでいきたいと考えています。

## ◀ 令和3年3月市議会定例会での主な一般質問と答弁の要約 ▶

### 金沢未来のまち創造館について

(喜多浩一)

金沢未来のまち創造館については、官主導ではなく、市民や学生、企業などの民が主役となり、自由な発想と活力が湧き出る場所にしなければなりません。民間活力の導入や運営方法についてお聞かせ願います。

(山野市長)

市の直営施設としますが、具体的な事業活動を行う上では専門的な知見や技術を持つ民間事業者を活用することが大切と考えています。それぞれの事業活動の委託業者はプロポーザル方式で公募して決めたい。

### 電子回覧板について

(喜多浩一)

電子回覧板については米泉地区で特に利用が進んでいるとお聞きしています。日ごろの情報交換だけでなく、防災訓練などでも活用されており、今年の成人式の遠方者の出席確認などでは大変な重宝だったとお聞きしています。電子回覧板の普及促進についてお聞かせ願います。

(山野市長)

ウイズコロナ時代を見据え、明年度、電子回覧板アプリを活用し、各校下町会連合会へ市政情報を配信するとともに、アプリの導入等にかかる補助率や限度額を引き上げ、助成制度の拡充を図ります。

北陸中日新聞 2020年3月5日付 朝刊

